



みえ スマート アクション 宣言事業所登録制度

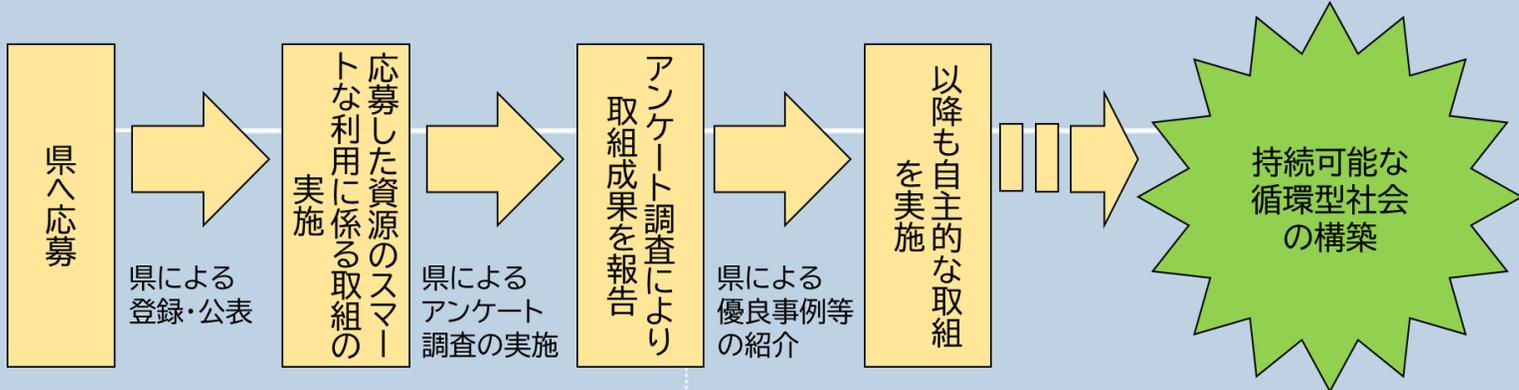


令和2年10月30日から募集開始

分別して資源へ！ 食品ロスを削減！ マイバッグを利用！

資源のスマートな利用※をはじめませんか！
新たに資源のスマートな利用を宣言してください！

みえスマートアクション事業所の取組イメージ



登録事業所を県HPで掲載！ 優良な取組をPR！

ご応募・お問い合わせは

三重県環境共生局
資源循環推進課
TEL 059-224-3310
メール shigenj@pref.mie.lg.jp
URL https://s-kantan.jp/pref-mie-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=355

※資源のスマートな利用とは、製品の生産、流通、消費、再生利用、廃棄等に至るライフサイクル全ての段階で、環境負荷の低減を図りつつ、徹底した資源循環を推進する取組のことです。



応募様式をURLまたは2次元コードからダウンロードしてメールで送るだけ！

この2次元コードから電子申請もできます！



資源のスマートな利用を推進する取組例

分類	番号	取組例
廃棄物の削減	1-1	一般廃棄物を〇年比で〇%削減する。
	1-2	廃棄物排出量及び廃棄物最終処分量を把握し、削減に取り組む。
	1-3	不必要なワンウェイプラスチックの利用を削減する。
	1-4	マイバッグ・マイボトル等を利用する。
廃棄物の発生抑制	2-1	品質劣化等による不良在庫を減らすため、在庫数量の適正化等在庫管理を徹底する。
	2-2	使い捨て製品（紙コップ、使い捨て容器入りの弁当等）の使用や購入を抑制する。
	2-3	再使用またはリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用する。
	2-4	詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等により、製品等の長期使用を進める。
	2-5	フードバンク等へ食品を提供する。
	2-6	こども食堂の運営や運営の支援を行う。
廃棄物の適正処理	3-1	電子マニフェストを活用し廃棄物の適正な処理を行う。
	3-2	優良産廃処理業者を活用し廃棄物の適正な処理を行う。
生産	4-1	総製品生産量または総商品販売量をまとめることで、環境へ負荷をかける製品・商品を把握し、環境負荷の削減に取り組む。
消費	5-1	用紙使用量を〇年比で〇%削減する。
省資源	6-1	打合せや会議の資料等については、ホワイトボードやプロジェクターの利用により、ペーパーレス化に取り組む。
	6-2	使用済み用紙、ポスター、カレンダー等の裏紙が活用できる紙は可能な限り利用するよう工夫する。
	6-3	コピー機は、枚数や拡大・縮小の誤り等のミスコピーを防止するため、使用前に設定を確認するとともに、次に使用する人に配慮し、使用後は必ず設定をリセットする。
グリーン購入	7-1	グリーン購入の購入率を〇%以上にする。
	7-2	環境に配慮した物品等の調達に係る方針、基準等を作成し、それらに基づき物品リストを作成し、リストに基づく購入を行う。
	7-3	環境ラベル認定等製品を優先的に購入する。
	7-4	省エネルギー基準適合製品を購入する。
	7-5	修理や部品交換が可能で、部品の再使用、素材の再生利用が容易な設計の製品を優先的に購入、使用する。
	7-6	木材の調達にあたり、跡地の緑化、植林、環境修復が適切に行われていることに配慮したり、または跡地緑化等を考慮したりする。
	7-7	調達する原材料（木材、水産物、農作物、鉱物等）の原産地を把握する。
環境配慮	8-1	自社製品及び社外から購入する部品等について、想定される環境負荷のチェックリストを作成する。
	8-2	新製品開発、モデルチェンジ等にあたり、環境負荷の測定・記録や製品アセスメント（製品が廃棄物になった場合の適正処理困難性の評価、製品の生産から消費、廃棄に至る各段階での環境負荷の評価（ライフサイクルアセスメント）等を含む）を実施する。
	8-3	環境負荷の少ない建築材の使用、建築材の使用合理化等（合板型枠等の木材の使用合理化、高炉セメント、エコセメント、再生素材の積極的使用等）を依頼する。
	8-4	三重県認定リサイクル製品を利用する。
リサイクル	9-1	生産工程から発生する金属屑、紙屑、廃液、汚泥等の回収・再利用のための設備やラインを設け、活用する。
	9-2	紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池等について、分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底する。
	9-3	回収した資源ごみがリサイクルされるよう確認する（委託業者等に対して）。
	9-4	食堂等における食べ残し、食品残渣等の有機物質については可能な限りコンポスト化（堆肥化）し、土壌に還元、利用する。
	9-5	リサイクルしやすいよう、素材の種類や製品の部品点数の削減や、ネジの数を減らすこと等による解体しやすい構造を指向する。
	9-6	非再生性資源の使用量削減（建築物の環境負荷低減性）。
	9-7	水平リサイクル等の高度なりサイクルへの参加、協力。
製品・サービス	10-1	簡易包装の推進、多重包装の見直し等を推進する。
	10-2	製品等の輸送の際には、繰り返し利用できるパレットや通い箱を利用する。
	10-3	再生資源を使用した商品、再生可能な商品、繰り返し使える商品、省エネ・省資源型の商品、容器包装を簡素化した商品、環境ラベル認定等製品等を重点的に販売する。
	10-4	製品の使用時や廃棄時の環境負荷の量をカタログ等に表示する。
	10-5	エコマーク及び自ら制定したマークや宣言等を製品やパンフレット等に表示する。
地域貢献	11-1	地産地消の推進に取り組む。
	11-2	地元ブランドの推進に取り組む。
	11-3	地域清掃活動の実施（参加）。